

雨水協 第23-54号  
平成23年10月11日

各 位

社団法人 雨水貯留浸透技術協会  
会 長 高 橋 裕  
(公印省略)

### 技術講習会の開催について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は当協会の業務にご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

さて、当協会が毎年開催しております「雨水貯留浸透技術講習会」も今年で27回目を迎えることになりました。毎年多数の方のご参加をいただき、大変好評を得ておりますが、これも偏に関係各位のご支援によるものと深く感謝申し上げます。

今回の講習会の内容は、先の東日本大震災を受けて『防災と雨水貯留浸透技術～災害に強いまちづくりを～』と題し、災害に強いまちづくりを意識した雨水貯留浸透の取り組みを紹介する企画としました。

つきましては、ぜひ多数の方々の参加をいただきたく、業務ご多忙中とは存じますが、担当者の方々にご周知賜わりますよう、ご案内申し上げます。 敬具

添付書類

1. 第27回雨水貯留浸透技術講習会の開催について
2. 第27回雨水貯留浸透技術講習会申込書
3. 第27回雨水貯留浸透技術講習会プログラム

## 第 27 回 雨水貯留浸透技術講習会・見学会の開催について

### 【防災と雨水貯留浸透技術～災害に強いまちづくりを～】

主催：(社) 雨水貯留浸透技術協会

近年、都市化の進展に伴う流域の急激な変化は、流域における保水、遊水機能を低下させ、洪水流出量を増大させる一方で、平常時の河川流量の減少、地下水位の低下、湧水の枯渇などの水に係わる諸問題を引き起こしています。

また、本年 3 月 11 日、我が国は東日本大震災という未曾有の大災害を経験し、多くの被災地で水に係る様々な困難に直面し、水の大切さを再認識させられたところです。

今回の講習会は、【防災と雨水貯留浸透技術～災害に強いまちづくりを～】と題し、災害に強いまちづくりを意識した雨水貯留浸透の取り組みを紹介させて戴くことと致しました。

また、基調講演として、津波の専門家として高名な首藤信夫先生にご講演を戴きます。

この講習会を契機として、水に係る災害に備えて、雨水貯留浸透技術がますます活用され、普及していくことを祈願します。

1. 日 時 講習会：平成 23 年 11 月 17 日 (木)  
見学会：平成 23 年 11 月 18 日 (金)
2. 講習会の場所 『新木場タワー 1 F ホール』  
東京都江東区新木場 1-7-22
3. 講習会・見学会の内容  
講習会：別紙プログラム、  
見学会：東京近郊において、施工中の貯留浸透施設の見学
4. 参加人員 申込先着 150 名（見学会は先着 40 名までとします）
5. 参加費（テキスト代含む）（金額は税込）

	講習会のみ	講習会・見学会
会 員	12,000 円	15,000 円
非 会 員	15,000 円	18,000 円

\*行政関係（地方自治体等）の参加者は会員扱いとしております。

6. 申込方法 参加ご希望の方は、同封の申込用紙にてファクシミリで送付のうえ、事前に参加費を下記銀行口座にお振り込み下さい。  
なお、請求書が必要な場合、また、やむを得ず当日会場でお支払いの場合は、FAX 送付の際にご記入願います。

送金先 三井住友銀行 麹町支店  
口座番号 店番号 218 普通 NO. 1617583  
口座名 社団法人 うすいちよりゅうしんとうぞじゅつぎょうかい 雨水貯留浸透技術協会

7. 申込期限 平成 23 年 11 月 10 日 (木)
8. その他 受講者には 1 週間前までに参加証及び会場案内図を郵送いたします。

お問い合わせ先：TEL03-5275-9591 担当：総務部 橘

## 第 27 回 雨水貯留浸透技術講習会 申込書

官公庁、企業名 \_\_\_\_\_

住 所 〒 \_\_\_\_\_

連絡先 TEL \_\_\_\_\_

FAX \_\_\_\_\_

(どちらかに○印を付けてください)

- |   |          |          |
|---|----------|----------|
| ① | ・会 員     | ・非会員     |
| ② | ・講習会のみ   | ・講習会と見学会 |
| ③ | ・参加費銀行振込 | ・当日支払    |
| ④ | ・請求書要    | ・請求書不要   |

申込者氏名	部署・役職名

\*参加証送付の都合上、勤務先住所が異なる場合は別々にお送り下さい。

FAX送付先 03-5275-9594 (FAX送付状不要)

## 第27回雨水貯留浸透技術講習会プログラム

平成23年11月17日(木)

会 場：『新木場タワー1F大ホール』 東京都江東区新木場1-7-22

時 間	題 目	講 師
9:30	開 会 挨拶	(社)雨水貯留浸透技術協会 会 長 高 橋 裕
9:35～10:20	河川行政の最近の話題について	国土交通省 水管理・国土保全局 治水課 流域治水室 課長補佐 野 口 康
10:25～11:15	東日本大震災と大津波	東北大学 災害制御研究センター 名誉教授 首藤 伸夫
特 集 【 防災と雨水貯留浸透技術・・・災害に強いまちづくりを・・・ 】		
11:20～12:00	仮)災害時における雨水・再生水活用について	国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部 水資源政策課 課長補佐 徳道 修二
12:00～13:00	( 昼 食 )	
13:00～13:40	東日本大震災の体験と雨水貯留	東北文化学園大学 科学技術部 教 授 岡田 誠之
13:45～14:25	雨水浸透と地下水汚染	立正大学 名誉教授 高村 弘毅
14:25～14:40	( 休 憩 )	
14:40～15:20	世田谷ダムによる豪雨対策と湧水保全	東京都世田谷区 土木計画課 課 長 五十嵐 慎一
15:25～16:05	福岡市における雨水貯留浸透施設整備の取り組み	福岡市 道路下水道局計画部下水道計画課 第3係長 竹下 和宏
16:10～16:50	市川市における都市浸水対策の取り組み	市川市 水と緑の部 次 長 安田 将広
17:00	閉 会	
11月18日(金) 見 学 会	東京周辺の雨水貯留浸透施設を見学	

\*プログラムの内容は変更になる場合があります。